

レ ス ス ン プ ラ ン

4 学年 第 1 回（自己理解①）

テーマ：「ともだちにありがとう」



授業の目標：

- (1) 友達の良いところに目を向けたり、自分の良い点を友達に挙げててもらうことで、肯定的な人間観を持つ
- (2) 自分と友達の人間関係を振りかえり、どのようなことが友達とのよい人間関係に影響を与えているのかを考える

用意するもの：

ALT

担当教師

- 自分が日本に来てから日本人にしてもらってうれしかったことの話
- 「ともだちにありがとう」シート(人数分)
- 「ともだちとなかよく！」シート(人数分)

- できるだけ、各列の人数(5～6人)が等しくなるように子どもたちを座らせておく

| 時間 | 活 動 | 気づいた点 |
|-----|---|-------|
| 1分 | ALTと担当教師は挨拶後、本時のねらいをつける。 | |
| 19分 | 「ともだちにありがとう」シートの一番上の欄に自分の名前を書く。その後、列(6人一列程度)の後ろの人に、自分のシートを渡す(最後尾の生徒は一番前の生徒に渡す)。渡された子どもは、シートの持ち主への感謝の気持ちを短い言葉で表現する。(どの枠に記入しても良い)記入が終わったら、ALTの「それではシートを回してください」という指示で、全員一斉にシートを次の人へ回す。最終的に本人にシートが戻る。ALTは戻ったシートについて、どう感じたか、質問してみる。担当教師は、私たちは自分では気づかない良い点を持っていることを説明し、他の人の良い点を見ると、お互いに仲良くなれるということを説明する。 | |
| 5分 | ALTは、日本に来てから友達にしてもらってうれしかった経験について話す。担当教師は、私たちも友達にいろいろ助けてもらっていることについて触れ、これからより良い友達になる方法について考えてみる事を述べる。 | |
| 15分 | ALTは「ともだちとなかよく！」シートを分け、仲良くするのに大切な、自分がしてもらとうれしい項目を4つ選んでそのハートマークに色を塗るよう指示する。その後、子どもたちはグループで自分が選んだ項目について理由を付けて説明し合う。その後、これから友達にしてあげたいことを、個人で記入する。 | |
| 5分 | 担当教師は、私たちは他人から親切にされるとうれしくなるので、他人と親しくするには、まず自分から親切にしてあげることが大切であるということ話し、まとめる。ALTは「親切がうれしいのは、どこの国の人でも変わらないことなので、どこの国の人でも、誰でも、とにかく身の回りで困っている人がいたら、どんな人にも親切にしてあげたいですね。」と付加する。 | |